

入院医療等分科会の中間まとめについて意見交換 次回から個別議論を開始

8月21日の中医協・総会（会長：森田朗・学習院大学法学部教授）では、診療報酬調査専門組織・入院医療等の調査・評価分科会（分科会長：武藤正樹・国際医療福祉大学大学院教授）から中間取りまとめの報告を受け、2014年度診療報酬改定に向けて前回改定の影響の検証と今後の方向性について意見交換を行った。

（中間取りまとめは13.8.7「中医協 第8回 診療報酬調査専門組織・入院医療等の調査・評価分科会」[http://www.medical-lead.co.jp/documents/130807nyuiniiryuu\\_001.pdf](http://www.medical-lead.co.jp/documents/130807nyuiniiryuu_001.pdf) 参照）

全6項目の検討項目のうち、主に「一般病棟入院基本料と慢性期入院医療の適切な評価」「亜急性期入院医療管理料等」の2項目に意見が集中した。特に7対1入院基本料と亜急性期入院医療管理料の要件としてDPCデータの提出を求める案について、白川修二委員（健康保険組合連合会専務理事）は「DPCデータの分析により、病院の治療実績が分かってきたことは否めない。要件化してでもデータを集めることが必要だ」と述べ、今後の検討を進める上では有用なデータの収集・分析が不可欠との考えに多数の委員が賛同した。その一方で、「亜急性期病床にまでデータ提出を求めるのは酷ではないか」と医療機関の負担増を懸念する意見も見られた他、入院医療等の調査・評価分科会で実施する実態調査の回収率の低さや、それによるデータ分析の不備などが課題として指摘された。

また、医療機能の評価方法に関する内容についても焦点が当てられた。鈴木邦彦委員（日本医師会常任理事）は重症度・看護必要度の見直しの中で「10分間以上の指導・意思決定支援」の追加が提案されていることについて、「実施者によってかかる時間には差があるもの」として要件で細かく時間指定することを問題視し、その他の項目も外科的な評価に偏っているとして見直しを求めた。さらに、矢内邦夫委員（全国健康保険協会東京支部長）は、中間取りまとめの中で「7対1入院基本料は一般病棟入院基本料の中で最も人員配置が手厚い」と表現されていることに触れて、「医療機能の評価はこれまで看護配置などストラクチャーが中心だったが、これからはアウトカムやプロセスも評価してより充実した医療体制を整備する必要がある」と述べ、中医協の議論によってできるだけ多くの人にコンセンサスを得られるような評価基準を定めるよう求めた。

■具体的・現実的な議論の進行を求める意見が多数

要件の見直し案や病床機能の定義など、具体的に踏み込んだ内容に対して、診療側委員からは現場の混乱を招かないよう慎重に議論することを強く求める意見が多数出された。これに対し、白川委員は「方向性の提案として、論理的には中間取りまとめに賛成だ。具体的な部分での意見の違いは多少あるが、現実的にどうするかはこれから中医協で考えるべきではないか」として、大枠で賛意を表した。急性期・亜急性期病床の役割や機能の定義についても、これまでの入院医療等の調査・評価分科会や医療部会、医療保険部会などにおける議論を踏まえた意見交換が行われたが、「まずはそれぞれの定義をしっかりと定めてから具体的議論を進めていくべき」等、今後の議論の進行に対する意見が挙げられた。

■DPC 高額薬剤に5 成分を追加

さらに今回は、「ヒュミラ皮下注 40mg シリンジ 0.8ml」〔一般名：アダリムマブ（遺伝子組換え）〕など4 成分をDPC の高額薬剤に追加することが了承された。これら高額薬剤を使用した患者のうち、指定された診断群分類に該当する場合はDPC 対象外となり、高額薬剤だけでなく他の治療費も出来高算定となる。また、このうち「パージェタ点滴静注 420mg/14ml」〔一般名：ペルツズマブ（遺伝子組換え）〕はトラスツズマブ（遺伝子組換え）の類似薬として薬価が設定されていることから、「090010 乳房の悪性腫瘍」の「トラスツズマブ」による分岐に追加することが了承された。

DPC の高額薬剤追加が了承された医薬品（適用は官報告示日からとなります）

[DPC対象外となる診断群分類は割愛しております。  
なお、詳細につきましては、官報告示後、弊社ホームページ内でご案内いたします。]

- 2013年5月28日、7月26日に告知申請が受理された医薬品、2013年4月30日、5月16日、5月31日、6月14日、6月18日に新たに効能追加された医薬品及び2013年8月27日に薬価収載を予定している医薬品

銘柄名	成分名	会社名	効能・効果
ヒュミラ皮下注40mgシリンジ0.8ml	アダリムマブ(遺伝子組換え)	エーザイ	潰瘍性大腸炎
アバステン点滴静注用100mg/4ml アバステン点滴静注用400mg/16ml	ペバシズマブ(遺伝子組換え)	中外製薬	悪性神経腫
アラベル内用剤1.5g アラグリオ内用剤1.5g	アミノレプリン酸塩	ノーベルファーマ SBIファーマ	悪性神経腫の腫瘍摘出術中における腫瘍組織の可視化
パージェタ点滴静注420mg/14ml	ペルツズマブ(遺伝子組換え)	中外製薬	HER2陽性手術不能又は再発乳がん

※中医協の資料を基に作成

■25 品目が8 月末に新規薬価収載

加えて、新医薬品 25 品目を 8 月 27 日に薬価収載することが了承された。そのうち、「イルトラ配合錠 LD/イルトラ配合錠 HD」（一般名：イルベサルタン/トリクロルメチアジド）を 14 日ルールの処方日数制限から外すこと、及び「ルナベル配合錠 ULD」（一般名：ノルエチステロン/エチニルエストラジオール）の処方日数制限を 14 日ではなく 30 日間とすることも了承された。

薬価収載一覧表（2013年8月27日 収載予定）

銘柄名	規格単位	会社名	成分名	算定薬価	薬効分類	新薬収載希望者による市場規模予測	最初に承認された国
イーケブラドライシロップ50%	50%1g	ユニービーージャパン	レベテラセタム	253.90円	内113 抗てんかん剤（他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作（2次性全般化発作を含む）に対する抗てんかん薬との併用療法用薬）	ピーク時（10年度）： 5,700人、 5億円	日本
イルトラ配合錠LD イルトラ配合錠HD	1錠 1錠	塩野義製薬	イルベサルタン/ トリクロルメチアジド	130.50円 195.80円	内214 血圧降下剤（高血圧症用薬）	ピーク時（10年度）： 7.1万人、 32.3億円	日本
ルナベル配合錠ULD	1錠	ノーベルファーマ	ノルエチステロン/ エチニルエストラジオール	327.90円	内248 混合ホルモン剤（月経困難症用薬）	ピーク時（4年度）： 3.8万人、 34億円	日本
トピロリック錠20mg トピロリック錠40mg トピロリック錠60mg ウリアデック錠20mg ウリアデック錠40mg ウリアデック錠60mg	20mg1錠 40mg1錠 60mg1錠 20mg1錠 40mg1錠 60mg1錠	富士薬品 三和化学研究所	トピロキソスタット	20.60円 38.90円 56.40円 20.60円 38.90円 56.40円	内394 痛風治療剤（痛風、高尿酸血症用薬）	ピーク時（10年度）： 50万人、 104億円	日本
アラベル内用剤1.5g アラグリオ内用剤1.5g	1.5g1瓶 1.5g1瓶	ノーベルファーマ SBIファーマ	アミノレプリン酸塩	87,867.30円 87,867.30円	内729 その他の診断用薬（体外診断用医薬品を除く）（悪性神経腫の腫瘍摘出術中における腫瘍組織の可視化用薬）	ピーク時（5年度）： 1,500人、 1.5億円	欧州
イーフェンパツカル錠50μg イーフェンパツカル錠100μg イーフェンパツカル錠200μg イーフェンパツカル錠400μg イーフェンパツカル錠600μg イーフェンパツカル錠800μg	50μg1錠 100μg1錠 200μg1錠 400μg1錠 600μg1錠 800μg1錠	帝國製薬	フェンタニルケエン酸塩	507.50円 708.10円 988.00円 1,378.60円 1,675.20円 1,923.60円	内821 合成麻薬（強オピオイド鎮痛剤を定時投与中のがん患者における突出痛の鎮痛用薬）	ピーク時（5年度）： 1.9万人、 28億円	米国
アセリオ静注液1000mg	1,000mg100mL1瓶	テルモ	アセトアミノファン	332円	注114 解熱鎮痛消炎剤（経口製剤及び坐剤の投与が困難な場合における疼痛及び発熱用薬）	ピーク時（6年度）： 160万人、 7.5億円	フランス
リクミア皮下注300μg	300μg3mL1キット	サノフィ	リキシセナチド	6,972円	注249 その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）（2型糖尿用薬）	ピーク時（6年度）： 6万人、 109億円	欧州
オレンシア皮下注125mgシリンジ1mL	125mg1mL1筒	プリストル・マイヤーズ	アバセプト（遺伝子組換え）	27,171円	注399 他に分類されない代謝性医薬品（関節リウマチ（既存治療で効果不十分な場合に限る）用薬）	ピーク時（6年度）： 9,400人、 120億円	米国
ボンビバ静注1mgシリンジ	1mg1mL1筒	中外製薬	イバンドロン酸ナトリウム水和物	4,918円	注399 他に分類されない代謝性医薬品（骨粗鬆症用薬）	ピーク時（10年度）： 43万人、 217億円	日本
パージェタ点滴静注420mg/14mL	420mg/14mL1瓶	中外製薬	ペルツズマブ（遺伝子組換え）	231,866円	注429 その他の腫瘍用薬（HER2陽性の手術不能又は再発乳がん用薬）	ピーク時（10年度）： 2,500人、 100億円	米国
ピソノテープ4mg ピソノテープ8mg	4mg1枚 8mg1枚	トーアエイヨー	ピソプロロール	89.30円 123.00円	外214 血圧降下剤（本悪性高血圧症（軽症～中等症）用薬）	ピーク時（10年度）： 9万人、 32億円	日本

※中医協の資料を基に作成

※赤字部分は2013年9月4日の中医協における修正内容を反映